



記者発表資料

令和6年12月5日

宮崎河川国道事務所

『おおよどがわおおいわだゆうすいち 大淀川大岩田遊水地・かなだちくひきてい 金田地区引堤事業着工式』について（ご案内）

大淀川上流の都城市において、洪水流量の低減およびに流下能力の向上を目的とした大岩田遊水地と金田地区引堤事業に着手するにあたり、以下のとおり着工式を開催いたします。

○日時：令和6年12月15日（日）11：00～（受付10時30分～）

- ・会場：都城市コミュニティセンター（宮崎県 都城市姫城町10街区7号）
- ・主催：宮崎県、都城市
九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
- ・内容：来賓祝辞、鍬入れ 等

《報道関係者の皆様へ》

- ・現地での取材・撮影を希望される方は、駐車場確保のため、別添 送信票による事前申込みをお願いします。

問い合わせ先：

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

（総括）

技術副所長

にしの 西野 きみお 公雄

（式典関係）

総務課長

はたなか 畠中 たかひろ 貴浩

（事業関係）

工務第一課長

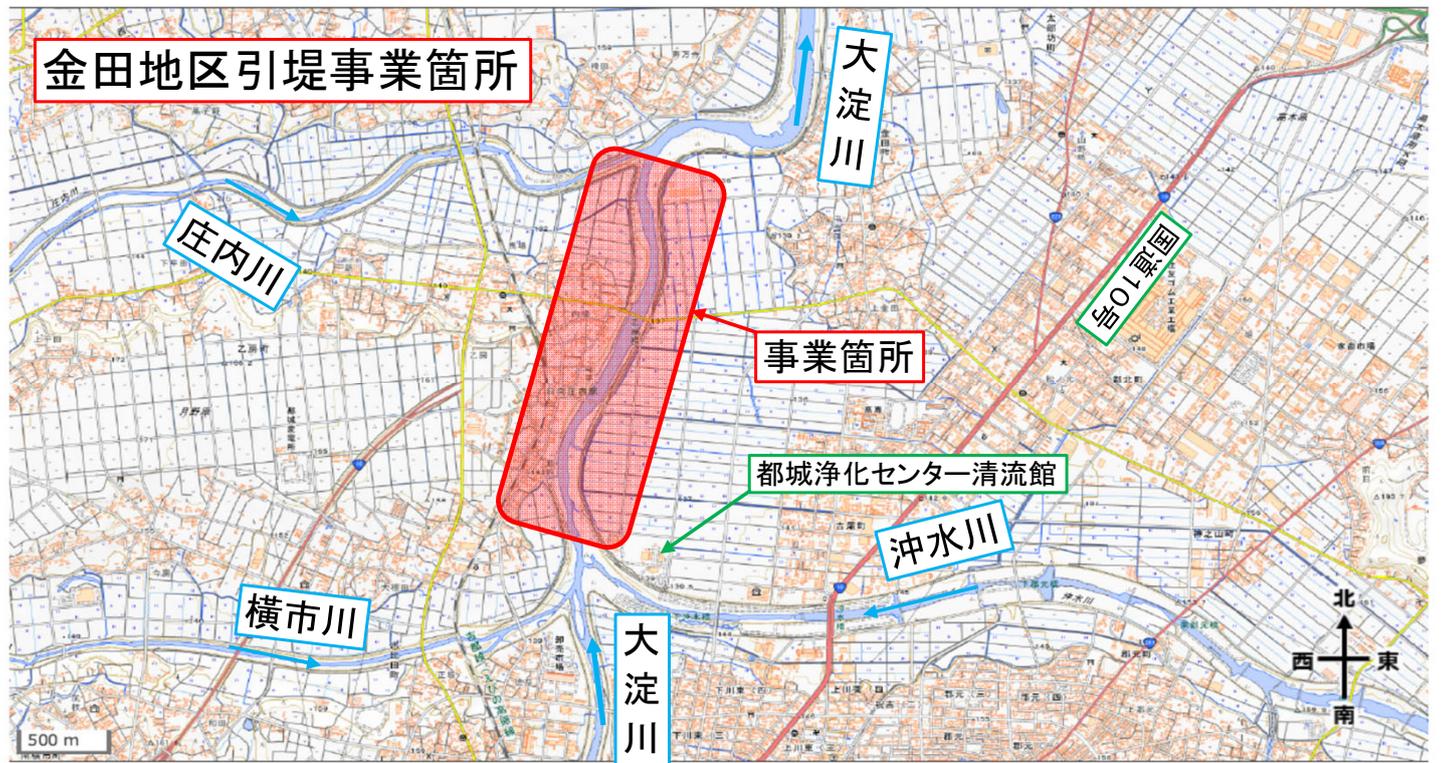
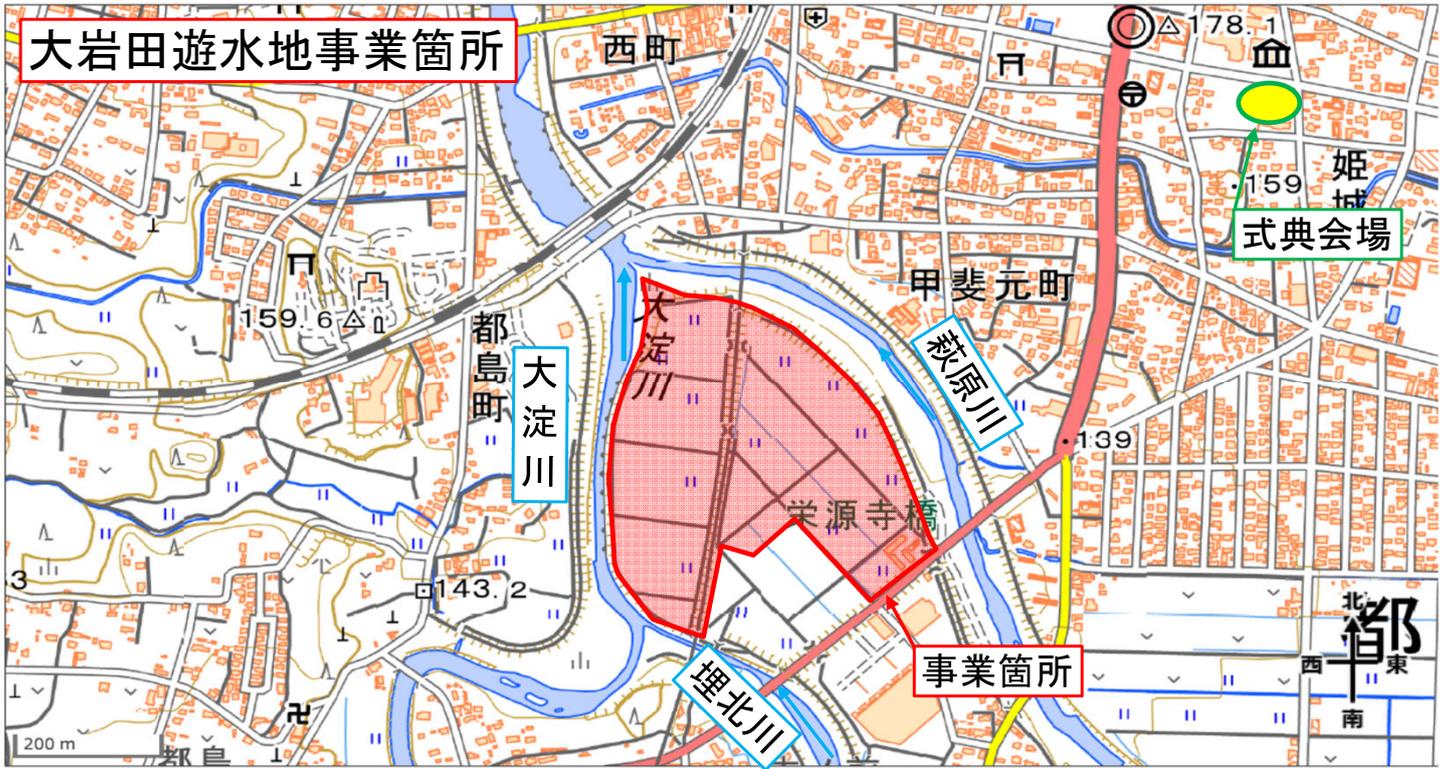
みやもと 宮元 ひろし 洋

TEL：0985-24-8221（代表）

式典会場周辺図



事業箇所位置図



大淀川水系

大岩田遊水地事業 金田地区引堤事業

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
宮崎県 / 都城市



大岩田遊水地完成予想図
具体的な整備内容については、今後の調整等により変更になる場合があります。



金田地区引堤完成予想図
具体的な整備内容については、今後の調整等により変更になる場合があります。

公共施設等被害の概要

都城市内では、公共施設や農林業関係、教育施設等の被害のほか、道路や水路、水道などのインフラでも多くの被害が発生しました。



都城市都島町付近浸水状況



都城市今町地区の倒木状況



都城市関之尾町地区の倒木状況



都城市祝吉地区フタタ裏公園の被災状況



市道大倉田・竹山線の崩壊状況



都城市川東小学校の被災状況

大淀川上流内水対策検討会

台風14号に伴う記録的な降雨により家屋の浸水被害軽減に向けた今後の対応方針を決定するため、専門的な知識を有する学識者及び国・県・市において「令和4年9月台風14号大淀川上流内水対策検討会」を設置し、「今後の対応方針」を令和5年3月に策定・公表しました。

検討会の開催状況		
開催日	検討会等	内容
令和4年11月28日	内水対策検討会(第1回)	<ul style="list-style-type: none"> 検討会立ち上げ 出水、被害状況の共有
令和5年1月24日	内水対策検討会(第2回)	<ul style="list-style-type: none"> 内水被害要因の共有 現在実施中の対策及び今後の対策
令和5年3月17日	内水対策検討会(第3回)	<ul style="list-style-type: none"> 今後の対応方針



02 事業の位置図

大岩田遊水地事業は都城市下長飯町地先、金田地区引堤事業は都城市吉尾町、乙房町地先に位置しています。なお、これらの事業は大淀川水系河川整備計画の中に位置付けられています。



03 大岩田遊水地事業の概要

事業の目的

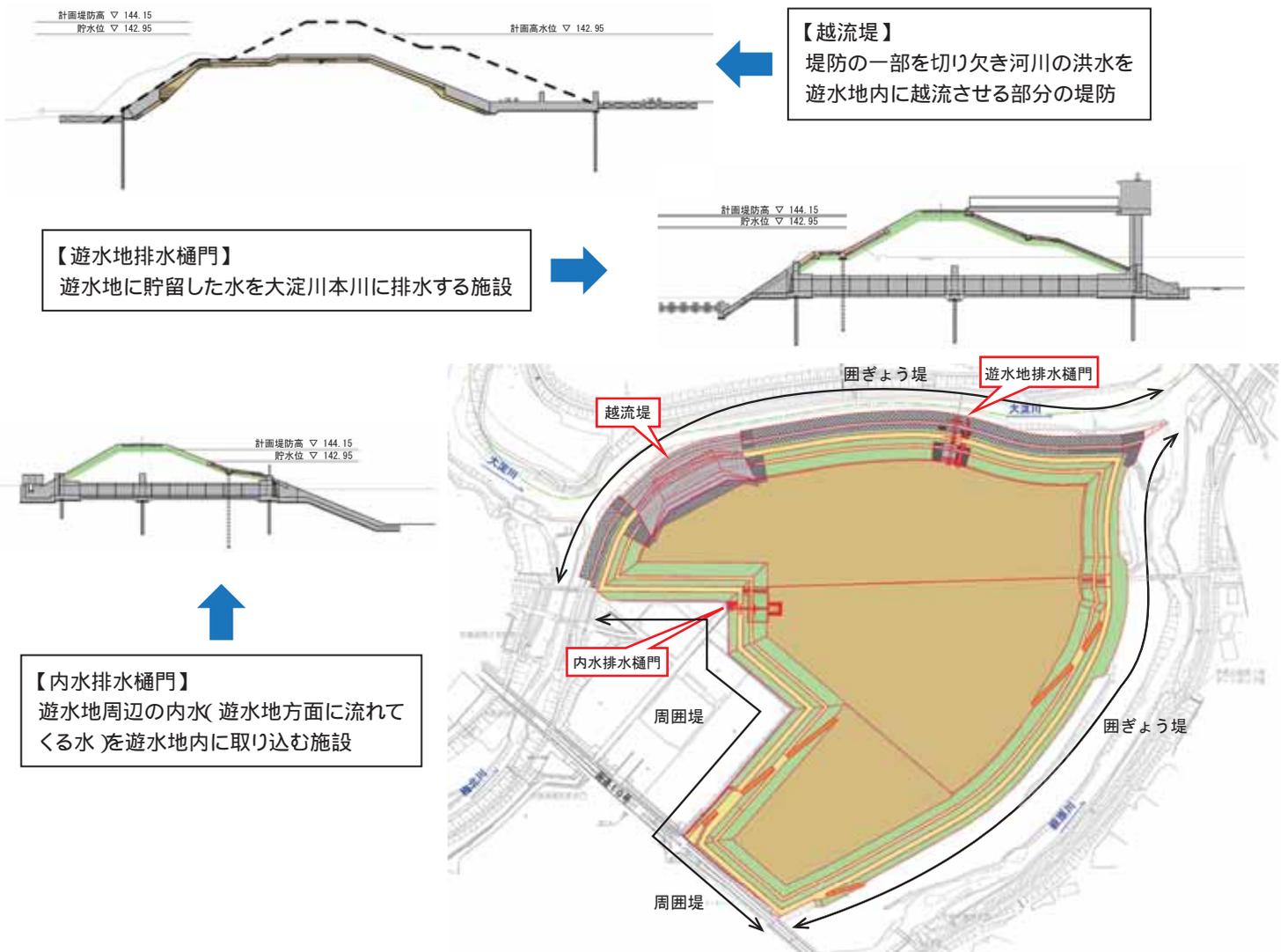
令和4年台風14号の出水をはじめとする近年頻発する出水に対し、大淀川上流に位置する都城市街部の治水安全度の早期向上を目的として、都城市街部の上流部に遊水地を整備します。

事業の効果

遊水地の整備等により、岳下橋地点の整備計画の目標流量である1,000m³/sに対して、遊水地で約100m³/sの洪水調節を行い、都城市街部において安全に洪水を流すことができます。また、河川の水位を下げることにより、内水被害を軽減します。

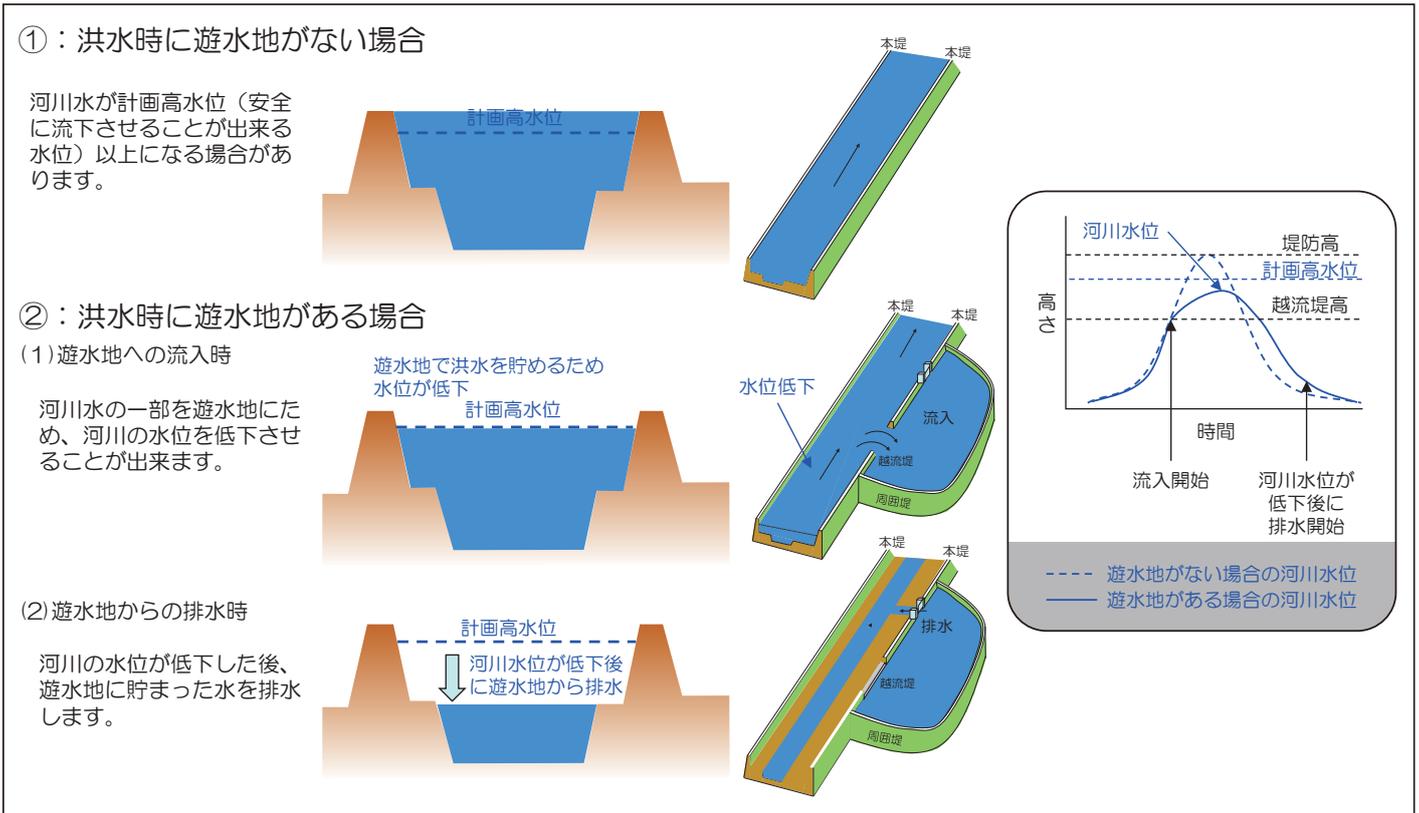
大岩田遊水地の諸元

項目		諸元	備考
遊水地諸元	洪水調節容量	約640,000m ³	
	遊水地面積	約116,000m ²	貯水面積（貯水位相当の面積）
	計画貯水位	T.P.+142.95m	越流堤地点の計画高水位相当
囲ぎよう堤	天端高	T.P.+143.46~T.P.+144.33	
周囲堤	天端高	T.P.+144.15m	
越流堤	形式	コンクリートフェイスング	
	天端高	T.P.+140.95m	
遊水地排水樋門	形式	河川側：フラップゲート 遊水地側：引き上げ式ローラゲート	
	断面(幅×高さ)	幅2.2m×高さ1.2m	
内水排水樋門	形式	フラップゲート	
	断面(幅×高さ)	幅1.1m×高さ1.0m	



遊水地とは

河川の水位が上昇すると河川水が越流堤を越えて遊水地に流入します。遊水地で一時的に流水を貯め込むことで、下流に流れる流量を低減します。水がない平常時は、公園などの利活用が可能です。



平常時の利活用について

約10年に1度の大雨の際、遊水地で一時的に流水を貯め込むことで、下流に流れる流量を低減します。そのため、普段雨が降っていない場合の遊水地内は様々な利活用(公園や環境学習やイベント広場など)が可能となります。今後は、地域の意向を踏まえ、平常時の利活用方法について関係者と協議を行いながら、整備を進めていきます。



04 金田地区引堤事業の概要

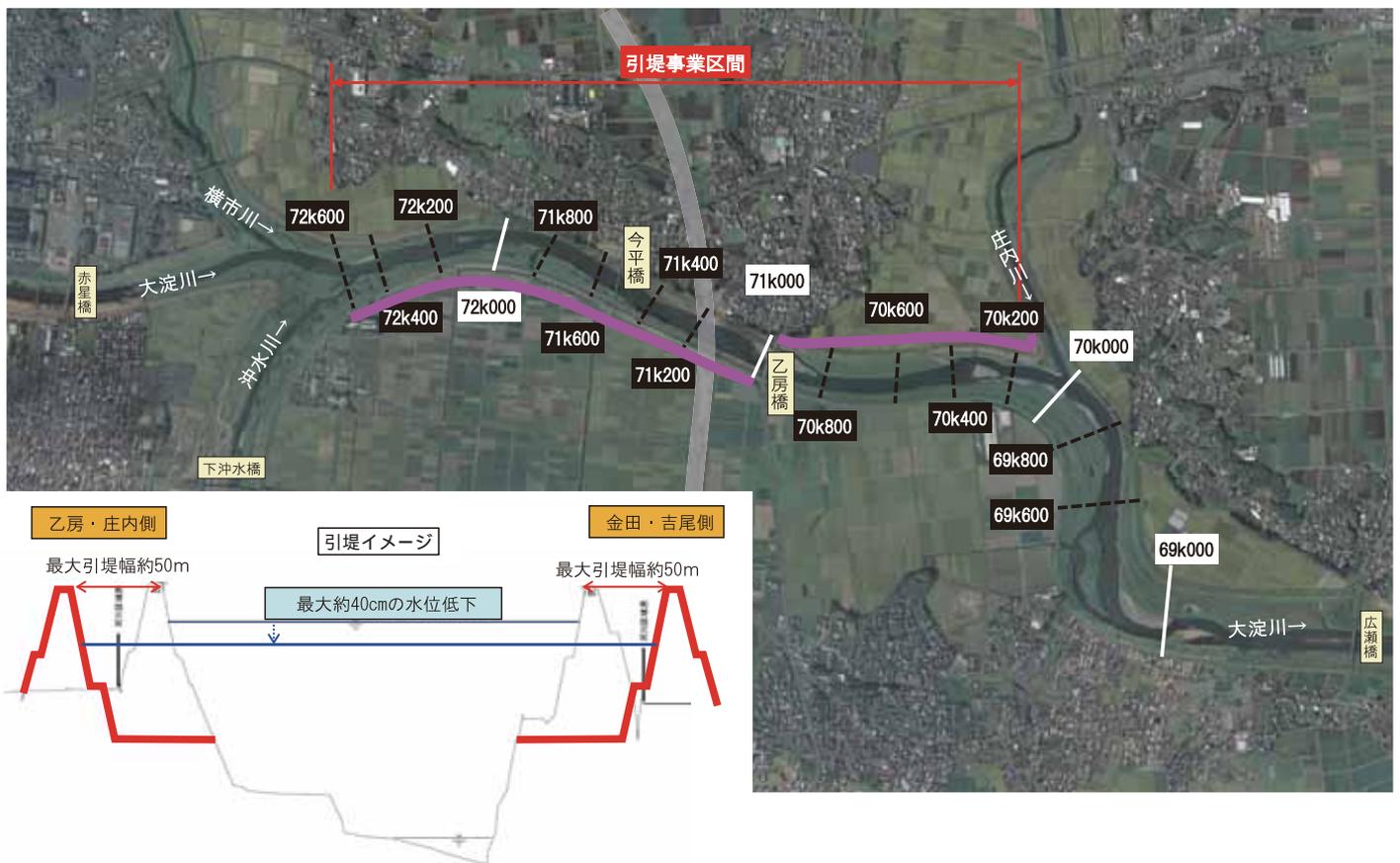
事業の目的

大淀川金田地区(70K200~72K400)は上下流と比較して川幅が狭いことから、洪水時の水位が上がりやすい状況にあります。金田地区の引堤により上流にある都城市街部の水位を低下させ、被害を軽減させます。

事業の効果

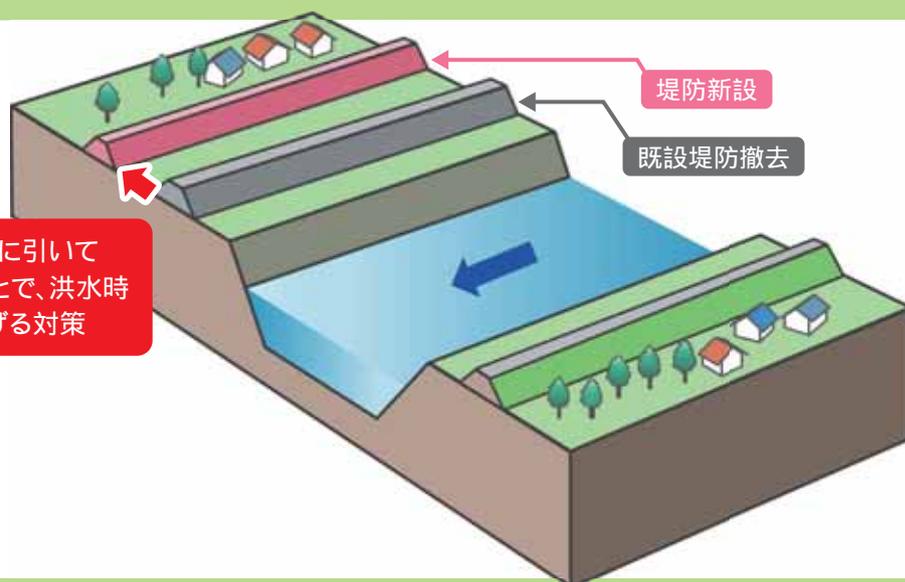
引堤事業を実施することで、都城市街部上流で整備中の大岩田遊水地と相まって、最大約40cmの水位低下が見込まれます。以上により、外水氾濫対策をはじめ、内水氾濫対策にも寄与する整備となり、地域の安全度向上を図ります。

金田地区引堤の諸元



ひきてい 引堤とは?

堤防を堤内側に引いて
川幅を広げることで、洪水時
の水位を下げる対策



大淀川流域治水プロジェクト2.0

都市化の進む流域において総合的な治水対策を一層推進し、浸水被害を軽減

H17.9洪水では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したこと等を踏まえ、以下の取り組みを一層推進していくものとします。さらに国管理区間においては、気候変動(2 上昇時)を考慮した戦後最大洪水であるH17.9洪水が流下する場合においても、現行の治水安全度を確保し、洪水を安全に流下させることを目指します。

堤防整備や河道掘削等の事前防災を引き続き推進し、洪水時の急激な水位上昇を抑制するため、遊水機能を有する土地や歴史的な治水対策の保全を図ります。また、流出抑制対策の検討や特定都市河川浸水被害対策法の適用の検討、立地適正化計画制度における防災指針の作成等、流域市町村が一体となった防災・減災対策を図ります。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道掘削、堤防・護岸整備、粘り強い河川堤防の検討、洪水調節施設の整備・検討、岩瀬ダム再生事業、海岸事業等の連携等
- 流域流木対策(林野部局との連携強化)
- 砂防関係施設の整備
- 内水氾濫対策(下水道等の排水施設の整備等)
- 流域の雨水貯留機能の向上(水田の貯留機能向上、農業用ため池等の防災対策の推進、雨水浸透・雨水貯留施設の設置促進・案内、国有財産の治水活用の検討等)
- 森林の整備・保全、治山施設の整備
- 利水ダム等14ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:宮崎県、宮崎市、都城市、曾於市、志布志市、九州電力、土地改良区など)
- 既存施設の有効活用検討

被害対象を減少させるための対策

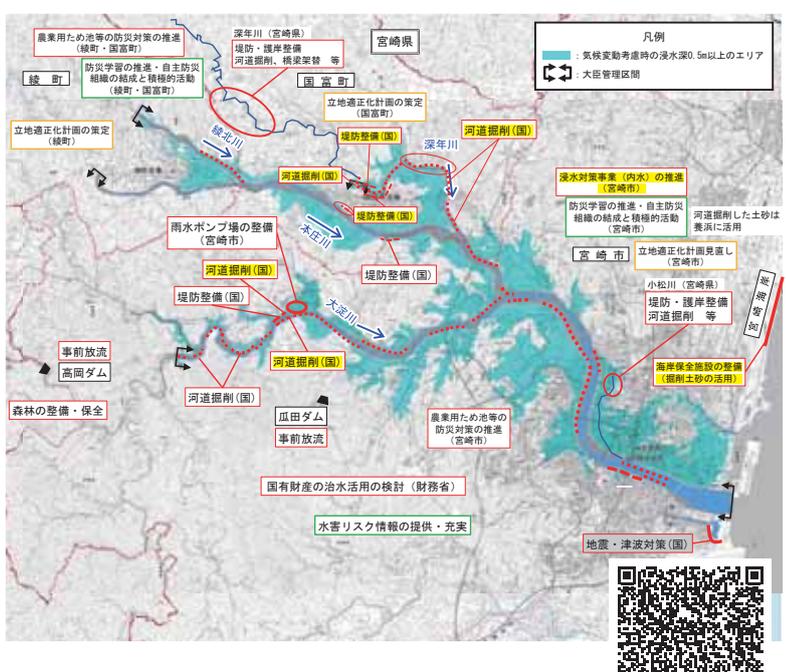
- 土地利用規制・誘導(災害危険区域等)
- 立地適正化計画の策定・見直し
- 土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

今後、関係機関と連携し対策検討

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 水害リスク情報空白域の解消のため、浸水想定区域の作成検討
- 雨水出水浸水想定区域図等の作成
- タイムライン等迅速な避難に関する取組
- マイ・タイムラインや住民が利用しやすいハザードマップの作成促進
- ハザードマップを活用した防災訓練の実施促進
- 防災学習の推進、自主防災組織の結成と積極的活動
- 要配慮者を考慮した避難・誘導の取組の推進
- 避難場所等環境整備支援等
- 排水機場の遠隔操作・監視
- 洪水予測の高度化

今後、関係機関との連携し対策検討



具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

流域治水プロジェクト2.0で新たに追加した対策については、今後河川整備基本方針及び河川整備計画の過程でより具体的な対策内容を検討します。

プロジェクト詳細HP



国土交通省 宮崎河川国道事務所
〒880-8523 宮崎市大工2-39 TEL0985-24-8221(代)
<https://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>



都城出張所
〒885-0011 宮崎県都城市下川東2-19-3
TEL0986-69-3661

お問い合わせ先

別添 送信票

※報道関係者の皆様へ

- ・現地での取材・撮影を希望される方は駐車場確保のため、本「送信票」による事前申し込みをお願いします。駐車券、駐車場案内図などは、お知らせいただいたE-mailアドレスに送付いたします。

令和6年12月 日

F A X 送 信 票

大淀川大岩田遊水地・金田地区引堤事業着工式について

宮崎河川国道事務所 総務課 宛

(FAX: 0985-24-8350)

◆会社名等

会社名 _____

住所 〒 _____

駐車台数 _____ 台

◆代表者連絡先

部署: _____ (ふりがな) 氏名 TEL: _____
E-Mail: _____

◆代表者以外の来場者全員の氏名をフルネームでご記入ください

(ふりがな) 氏名 _____ (ふりがな) 氏名 _____

(ふりがな) 氏名 _____ (ふりがな) 氏名 _____

※手書き記入で結構です。

※申し込みにつきましては12月11日(水)までをお願い致します。